

1 目的

- ウェルビーイングに関する**県民意識の現状把握**
- 県民の意識傾向を探り、**どのような要素が県民のウェルビーイングに結びつきやすいかを分析**

心身の健康、経済的なゆとり、
生きがい、自分らしさ、
人とのつながり、将来への希望など

分析結果等も踏まえ

 **ウェルビーイングに関する本県独自の「指標」を策定**
(12月末予定)

2 調査方法

- 対 象：県内在住の18歳以上の方のうち **5,000**人
(市町村別・年代別に割り振り、無作為抽出)
- 方 法：抽出した対象者の方に調査票を郵送
(回答は郵送またはインターネット)
- 期 間：9月上旬に調査票を発送～9月30日締切り

3 調査内容

生活でのウェルビーイングに関連する項目への主観的な「実感」を問う

(1) 総合的な実感 (理想の生活に対する自己評価)

(2) 分野別実感

- ・心や身体の状態、生きがいなどに対する自分自身の意識
- ・家族、職場、地域等との“つながり”の中での人間関係や居心地などへの意識・実感

(3) 基本属性 (年齢、性別、家族構成など)

有効回答数

有効回答数 **2,754** (有効回答率 55.1%)

年齢区分・男女別

年齢区分	合計		男性	女性	性別無回答
10代 (18,19歳)	141	5.12%	63	76	2
20代	352	12.8%	148	198	6
30代	452	16.4%	169	273	10
40代	501	18.2%	211	286	4
50代	413	15.0%	188	222	3
60代	443	16.1%	202	235	6
70代以上	449	16.3%	218	228	3
年齢無回答	3	0.1%	2	0	1
合計	2,754		1,201	1,518	35
		(回答の構成比)	43.6%	55.1%	1.3%

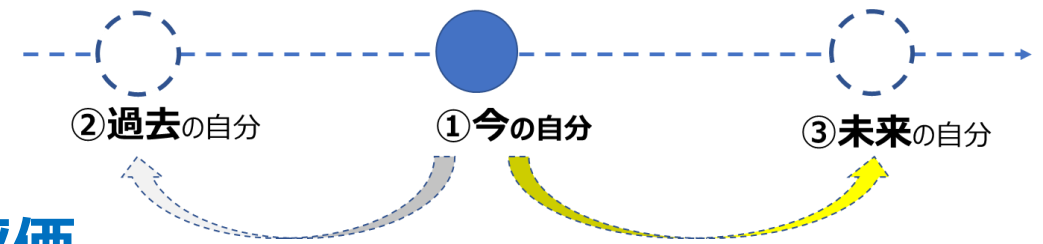
総合的な実感

(1) 総合的な実感

最も理想的な生活であると思う状態を**10**、
最悪であると思う状態を**0**として、**10~0**の11段階で評価

- ・ 自分にとって、最も理想的な状態を考え、その評価を回答
→ “わたし基準”で満たされている状態の程度を問う

- ・ 現時点の実感だけではなく、現在を起点にし、
過去（5年前・1年前）・未来（5年後）も評価

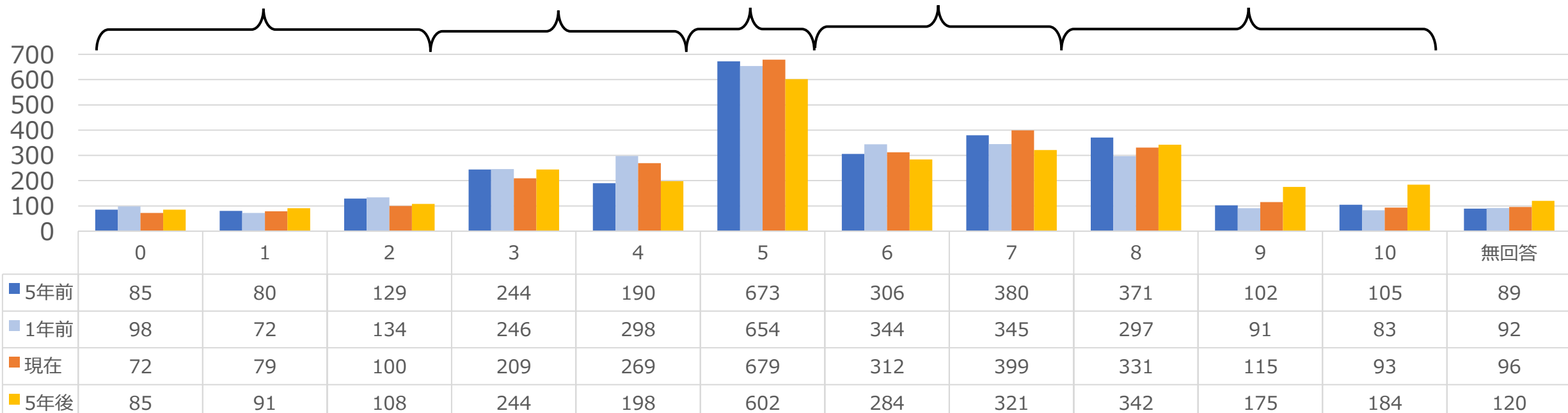


→ 時間の経過を意識することで、「持続的な幸せ」、ウェルビーイングを捉える

総合的な実感 -実数-

- ・現在、過去（1年前・5年前）、未来（5年後）いずれも中央値の「5」が最多
- ・1年前は全体的に低く、現在は5年前と似た水準、5年後は上向き傾向

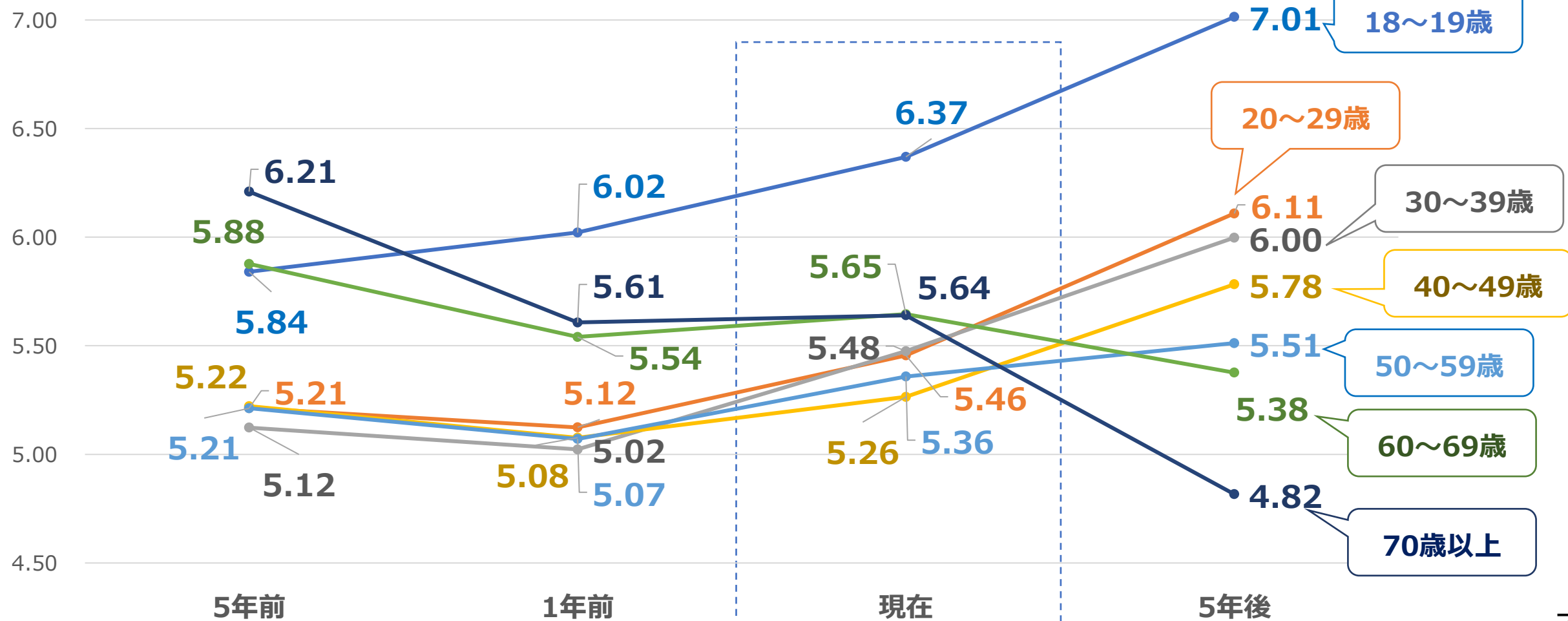
	0~2	3~4	5	6~7	8~10
5年前	10.7%	15.8%	24.4%	24.9%	21.0%
1年前	11.0%	19.8%	23.7%	25.0%	17.1%
現在	9.1%	17.4%	24.7%	25.8%	19.6%
5年後	10.3%	16.0%	21.9%	22.0%	25.5%



※速報値であるため、今後数値等が変動する場合がある（以下、同じ）

総合的な実感 -平均①-

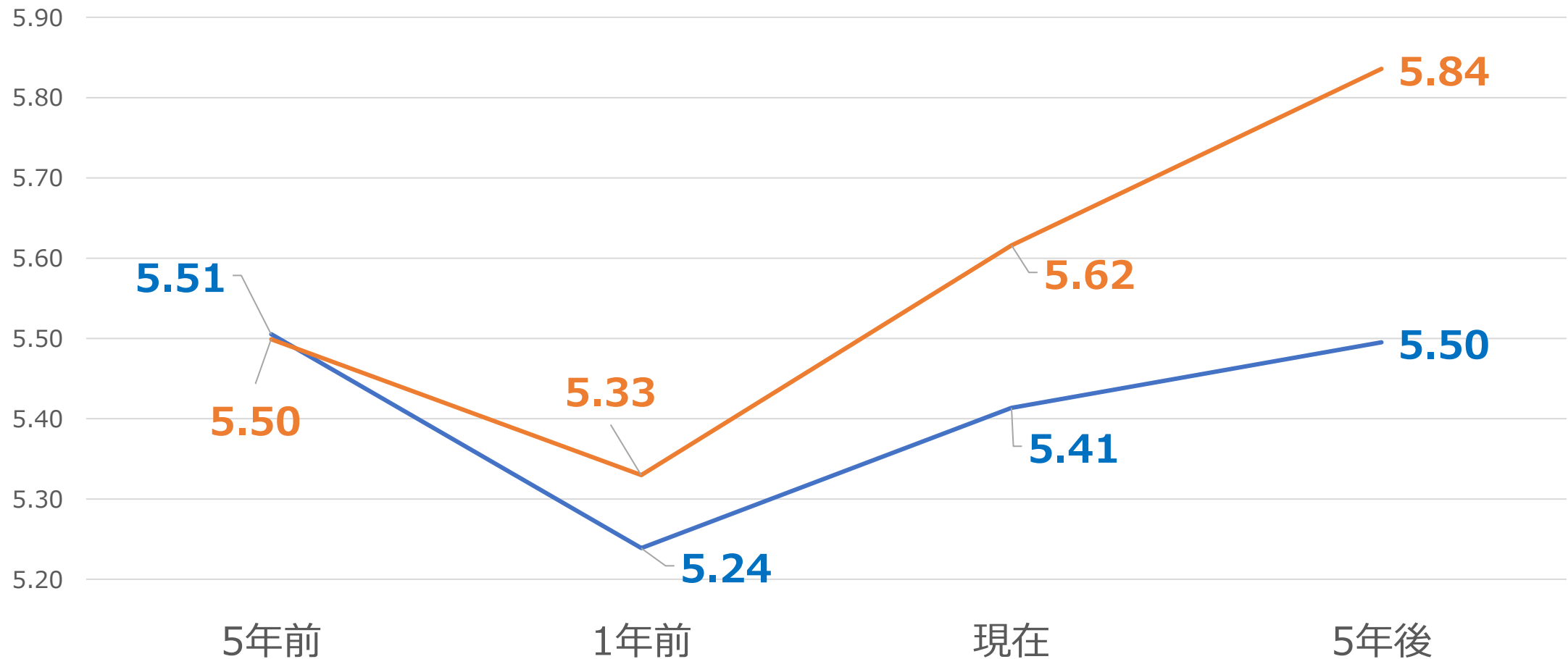
- ・各年齢層の平均を見ると、10代は全体的に評価が高く、将来に向けてポジティブな傾向
- ・20～50代は5～6周辺で推移、1年前は落ち込むが、5年前から現在、未来に向け上向き評価
- ・60代以上は、過去（5年前）が高く、将来の評価は下がる傾向



総合的な実感 -平均②-

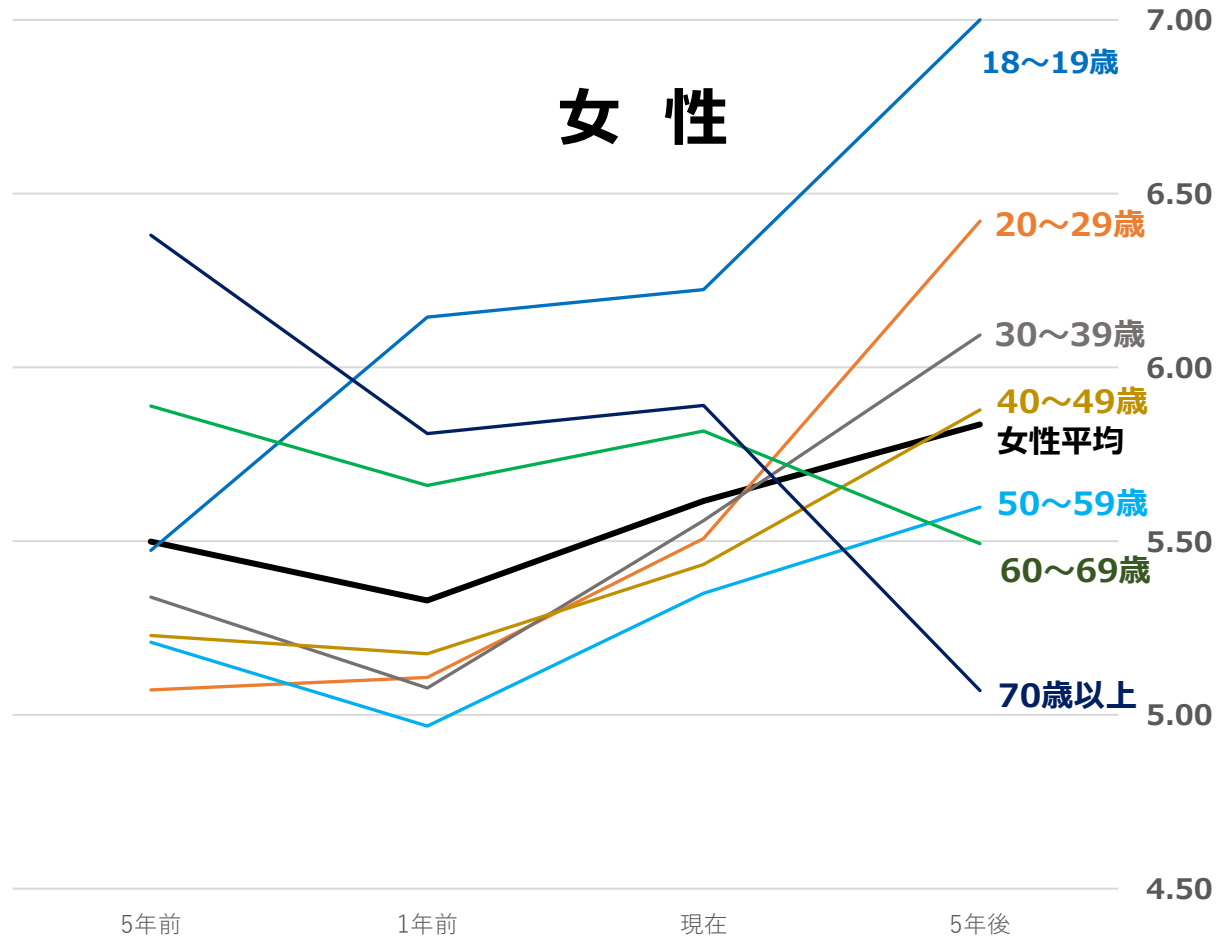
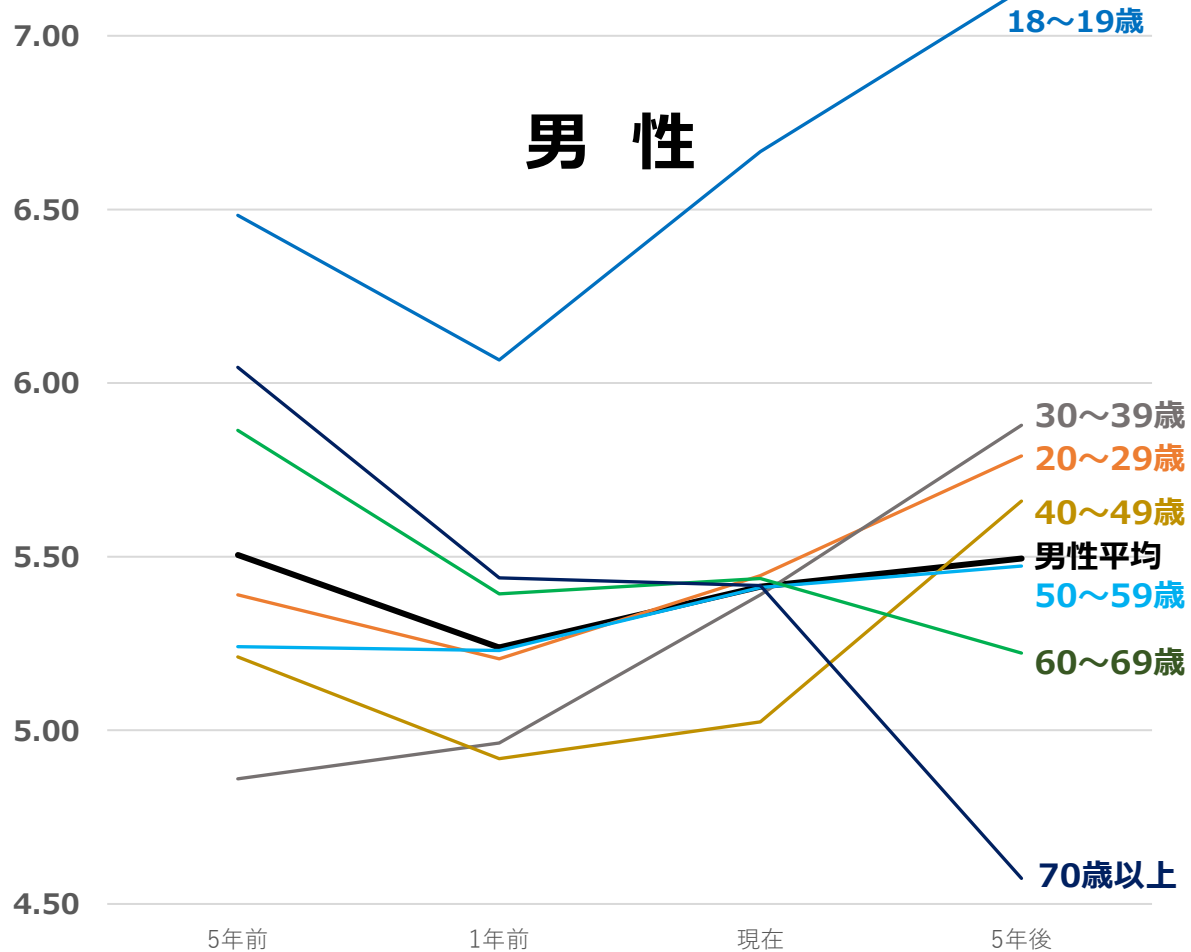
- 全体で男女別の平均を見ると、男性よりも女性のほうが高い傾向
- 1年前は一旦落ち込むものの、未来（5年後）は上向きに捉えている

— 男性全体 — 女性全体



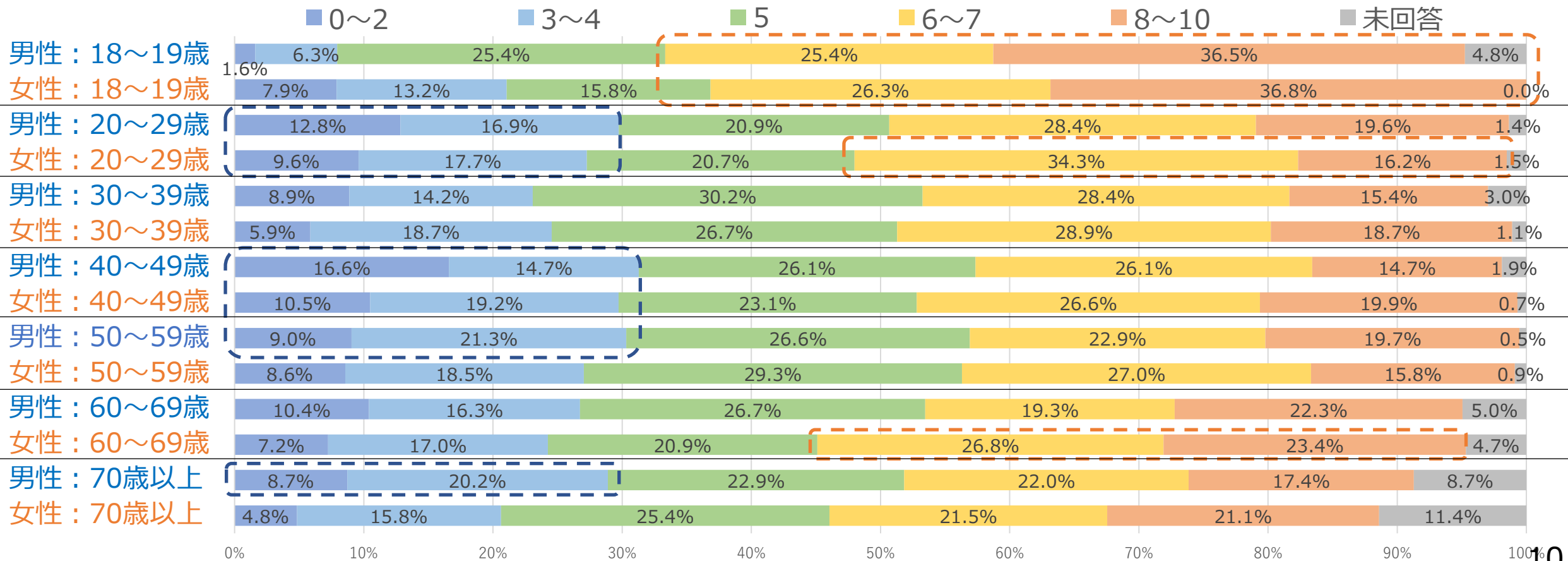
総合的実感 -平均③-

- ・男女別・年齢層別で平均で見ると、男性より女性が高い傾向（「現在」では、10・50代で女性が若干低い）
- ・50代までは未来にかけて上向き、60代以上は下向きに評価する傾向



総合的実感 - 割合 -

- ・男女別・年齢層別で「現在」評価を割合で詳しく見ると、6以上は18～19歳の男女、20・60代の女性で5割超
- ・一方で、20・40代女性は4以下の割合も多い
- ・20・40・50・70代以上の男性は4以下が3割前後、特に20・40代は「0～2」の低評価が多い



理想的な生活の実現に特に必要なこと

・「あなたが考える最も理想的な生活を
実現するために、特に必要だと思うこと」
(3つ回答)

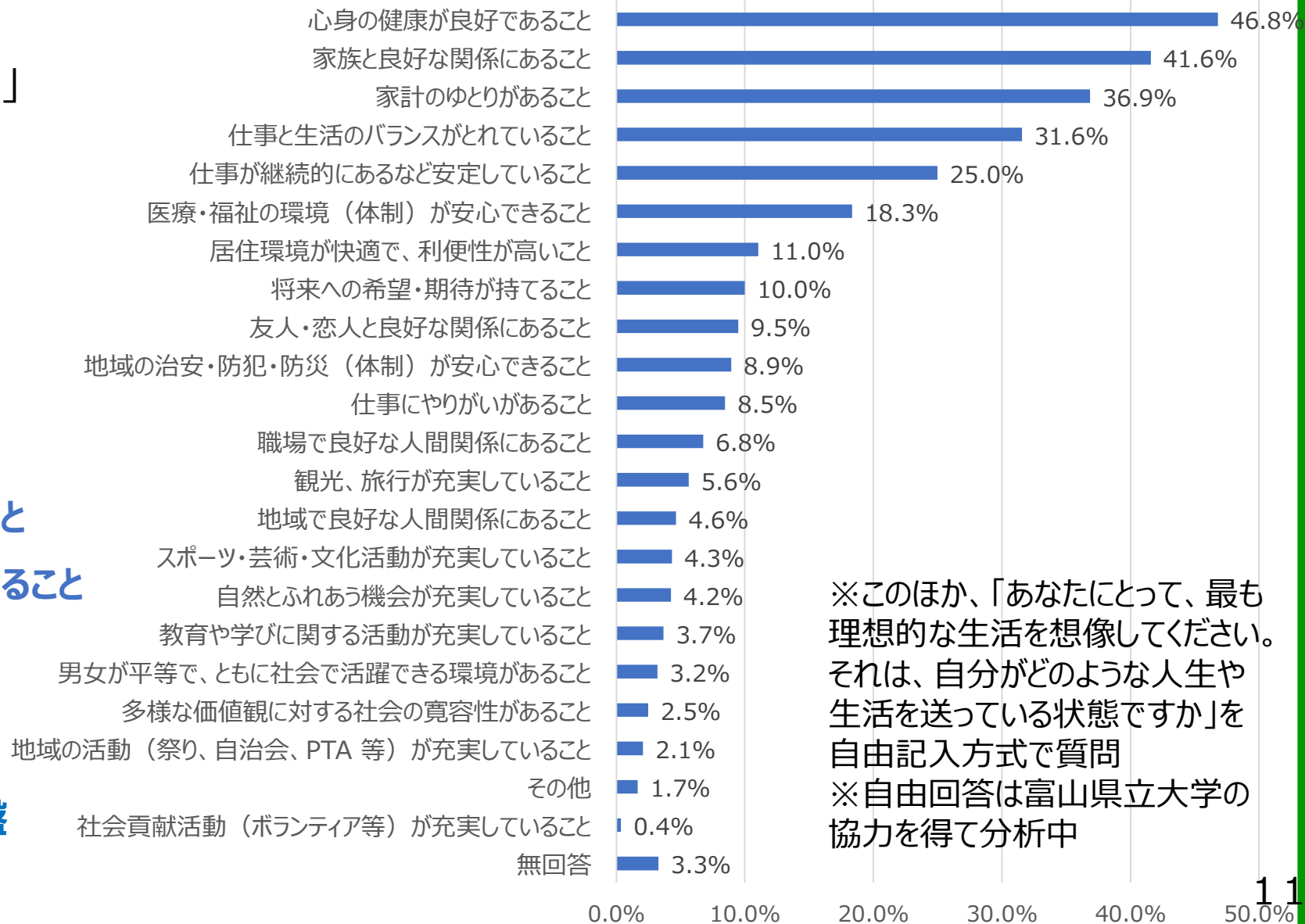
全体では、

- ・心身の健康が良好であること
- ・家族と良好な関係にあること
- ・家計のゆとりがあること
- ・仕事と生活のバランスがとれていること
- ・仕事が継続的にあるなど安定していること
- ・医療・福祉の環境（体制）が安心できること

が上位



健康面や経済的な安心
家族との良好な関係など**生活の基盤**
となることを重視する傾向



※このほか、「あなたにとって、最も理想的な生活を想像してください。それは、自分がどのような人生や生活を送っている状態ですか」を自由記入方式で質問
※自由回答は富山県立大学の協力を得て分析中

富山県で暮らしていて幸せに感じること

「あなたが、**富山県で暮らしていて、「幸せ」を感じるのは、どういうこと（時）ですか。**」を、**自由記入**で聞いたところ、概要は次のとおり

※富山県立大学の協力を得て、引き続き分析中

- ・「**自然**」、「**災害**」、「**食べ物**」、「**水**」、「**海**」、「**魚**」、「**家族**」、「**環境**」、「**空気**」、「**米**」、「**立山連峰**」などが頻出ワード

→美しい自然、美味しい食・水、災害が少ない安心感など**恵まれた環境**に幸せを感じるという回答が多い一方、**人との繋がりや社会的活動に伴うもの**などの回答は少ない傾向。

自然…「自然が豊かで山や海がすぐ近くにあるので心が癒される」など

災害…「災害が少ないので安心できる」など

食べ物…「米、野菜、魚など新鮮でおいしく食べられること」など

水…「水道水がおいしく飲める」「水の心配がない」など

海…「日帰りで海にも行けるし3000m級の山にも行ける」など

魚…「海が近く、新鮮な魚がスーパーで毎日のように豊富に売られている」など

家族…「友達や家族、親戚が近くにいていつでも会えること」など

環境…「遊ぶ場所は少ないが日常生活で特に困ったこともなく平和に過ごせている環境にすることが幸せだと思う」など

空気…「風景 水、空気、風、緑が心地よい」など

米…「米がおいしい」など

立山連峰…「晴れた穏やかな日に眺める雄大な立山連峰の姿に元気をもらい、立山に守られているなど幸せを実感します」など

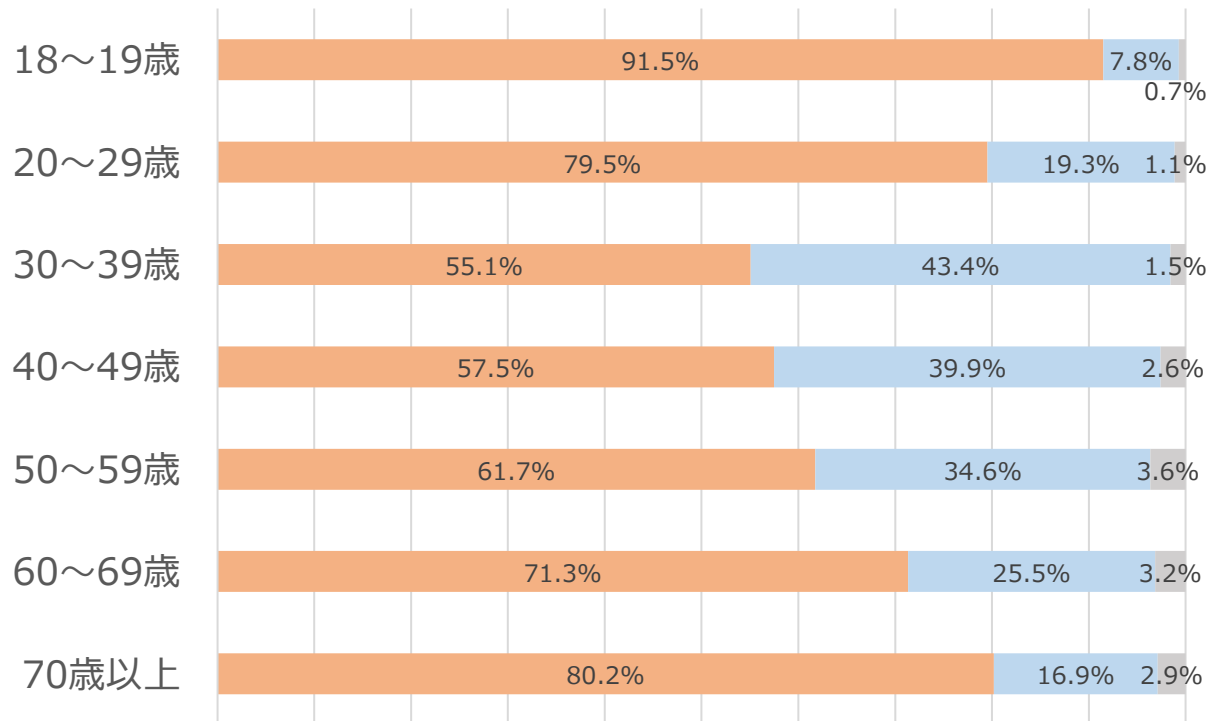
(2) 分野別実感

- ① 心や身体の状態、生きがいなどに対する自分自身の実感（22問）
- ② 家族との関係に対する意識（8問）
- ③ 友人との関係に対する意識（5問）
- ④ 職場・学校等に対する意識（8問）
- ⑤ 地域に対する意識（7問）
- ⑥ 富山県に対する意識（10問）

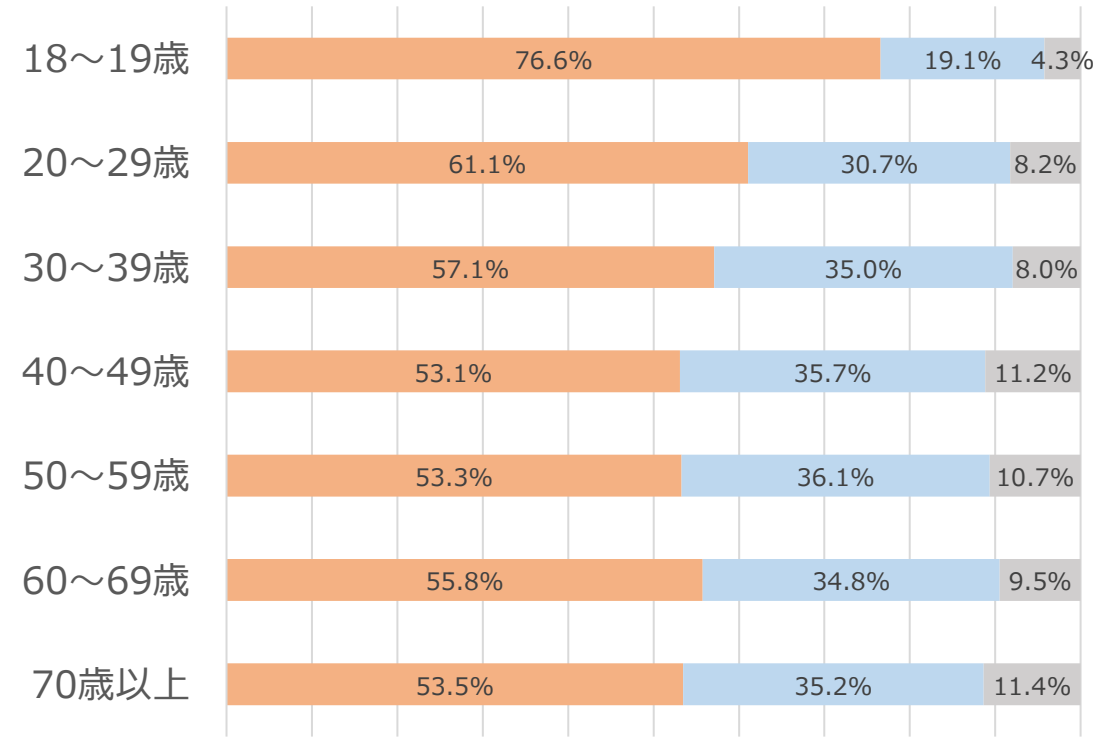
自分を起点とする家庭・社会
との「つながり」を意識

分野別実感(抜粋) - ①自分自身 -

娯楽や趣味、学びを行うための、
自分の自由な時間がある



自分が行っていることに、
やりがい・生きがいを感じている



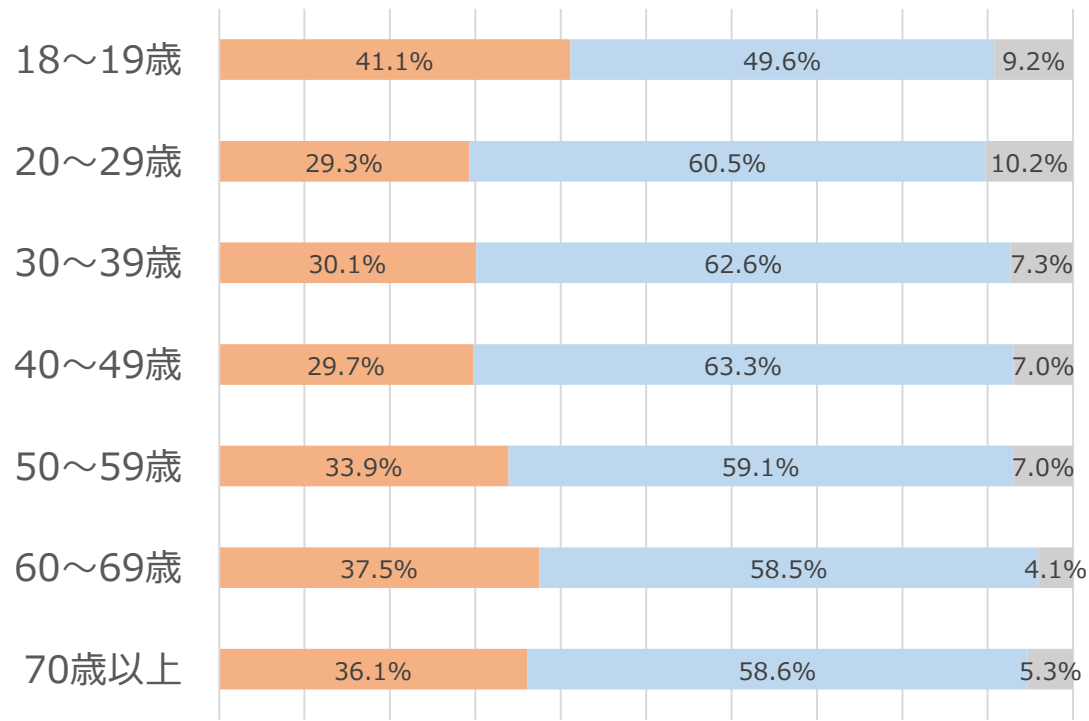
「はい」又は「どちらかと言えばはい」

「いいえ」又は「どちらかと言えばいいえ」

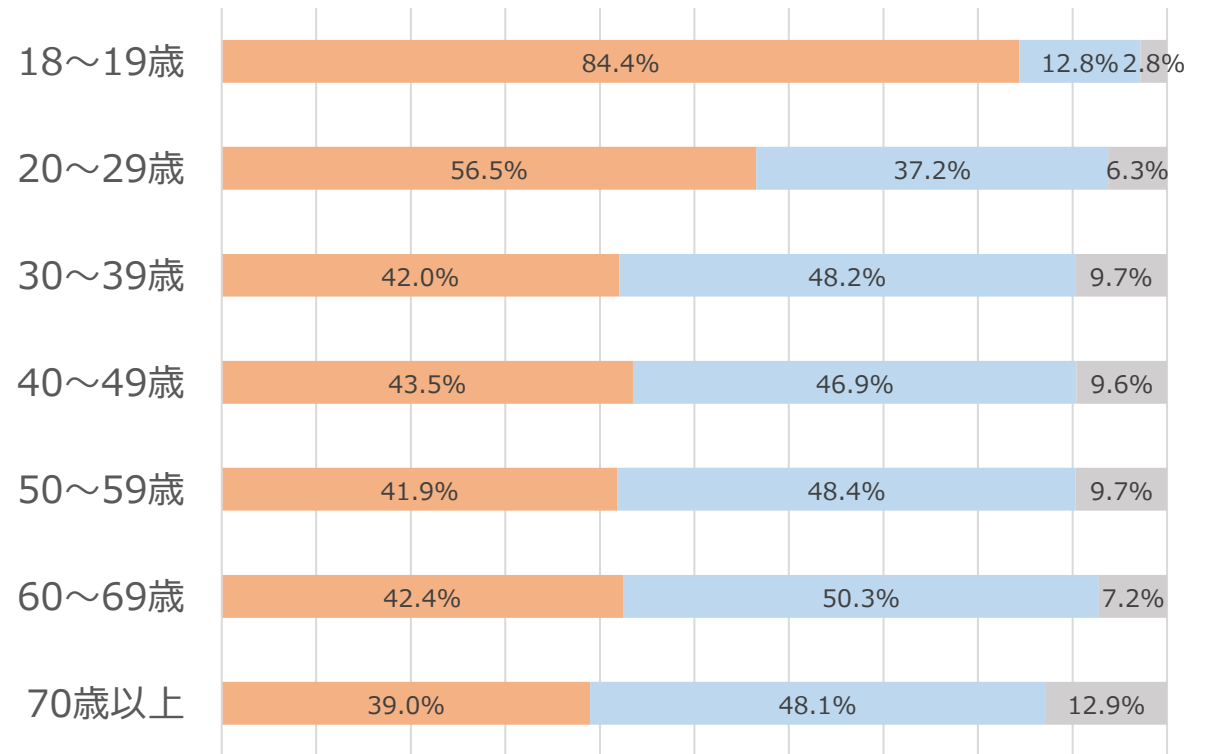
「わからない」又は無回答

分野別実感(抜粋) - ①自分自身 -

地域や社会のためになる何らかの
取り組みをしている



夢や目標に向かって、
チャレンジや努力をしている



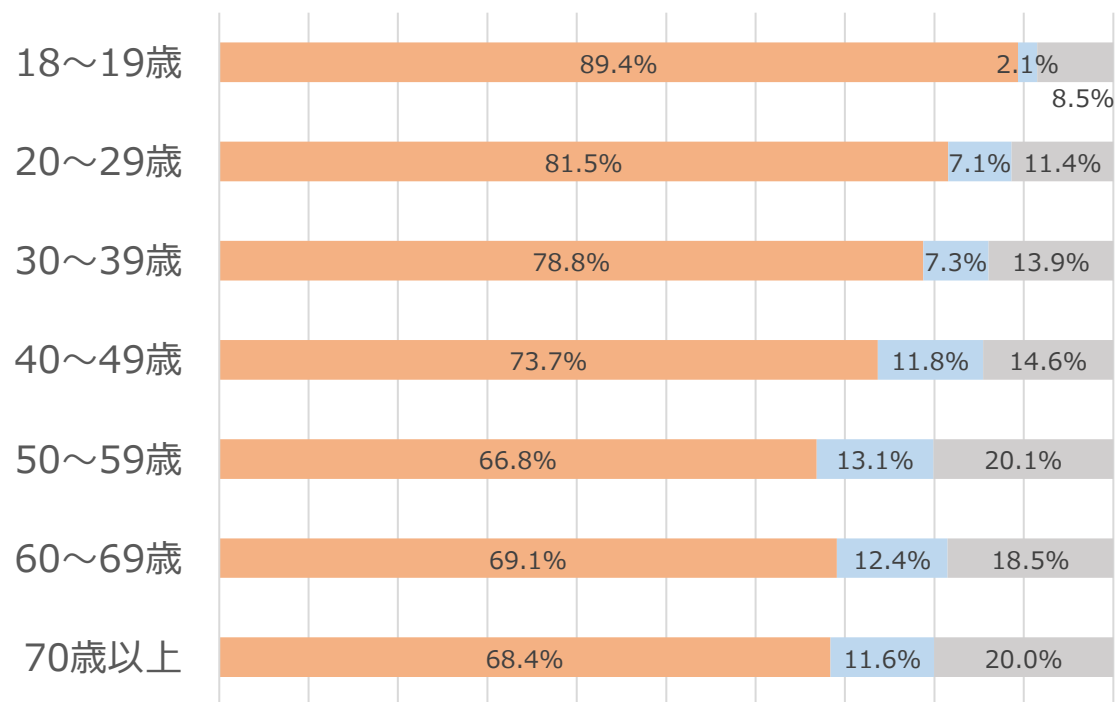
「はい」又は「どちらかと言えばはい」

「いいえ」又は「どちらかと言えばいいえ」

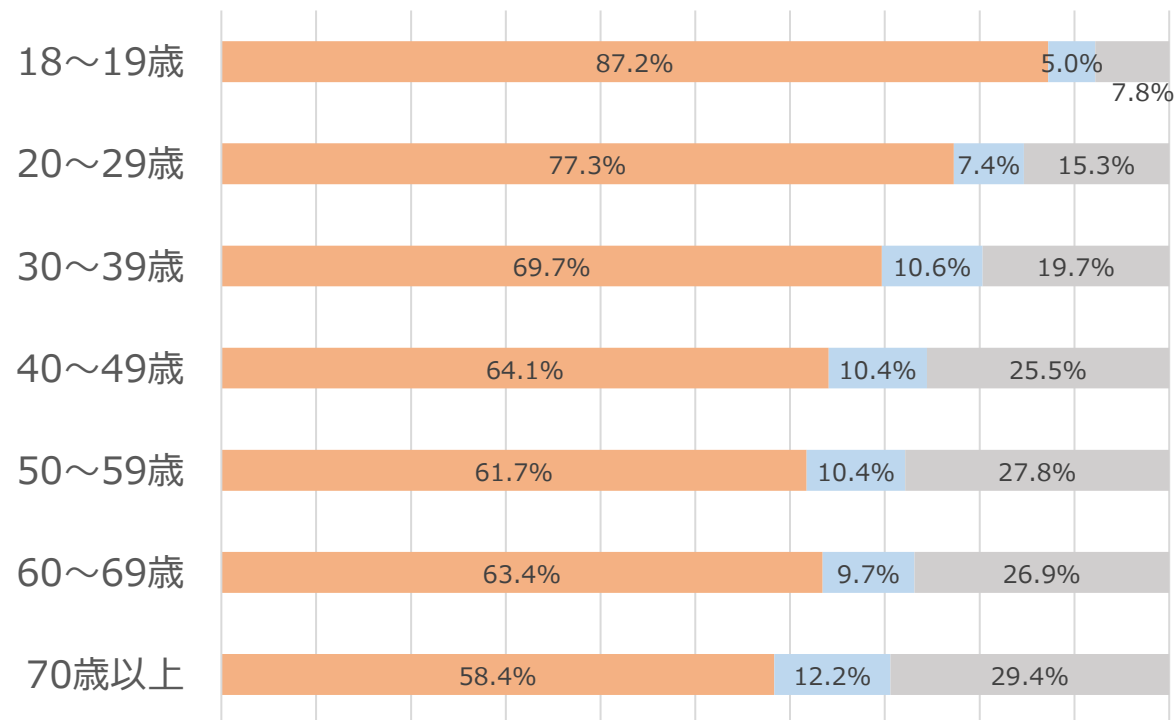
「わからない」又は無回答

分野別実感(抜粋)-②家族・③友人に対する意識-

家族は、あなたの意見や価値観を
理解・尊重してくれている



困った時や苦しい時、友人は
力になってくれると感じている



「はい」又は「どちらかと言えばはい」

「いいえ」又は「どちらかと言えばいいえ」

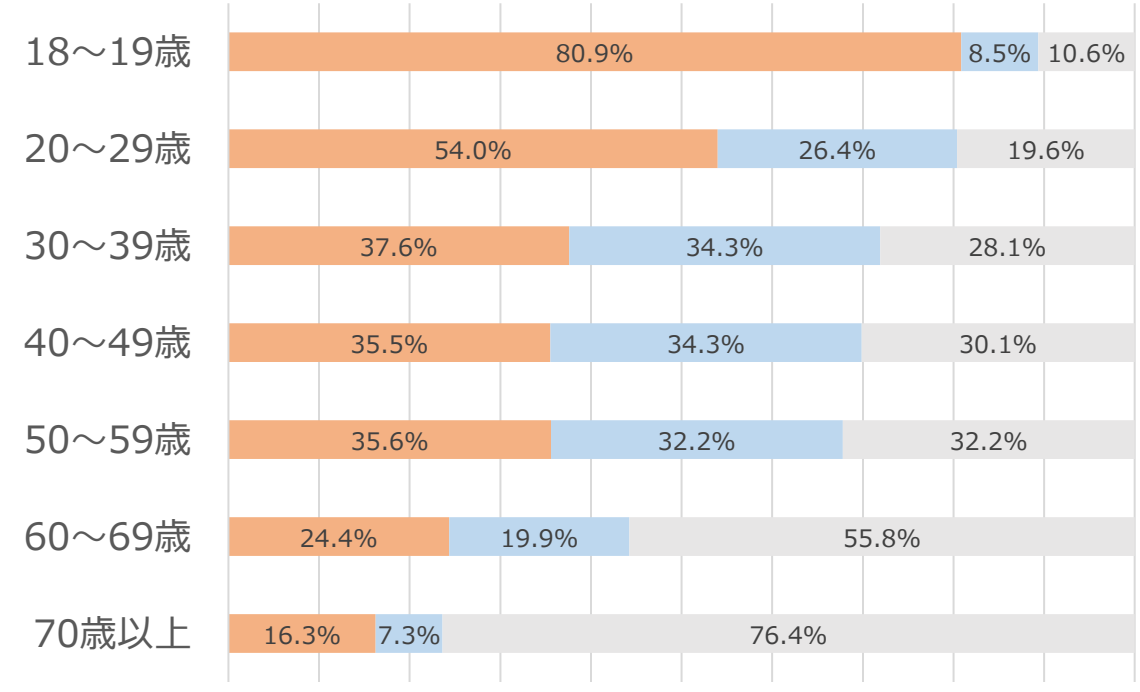
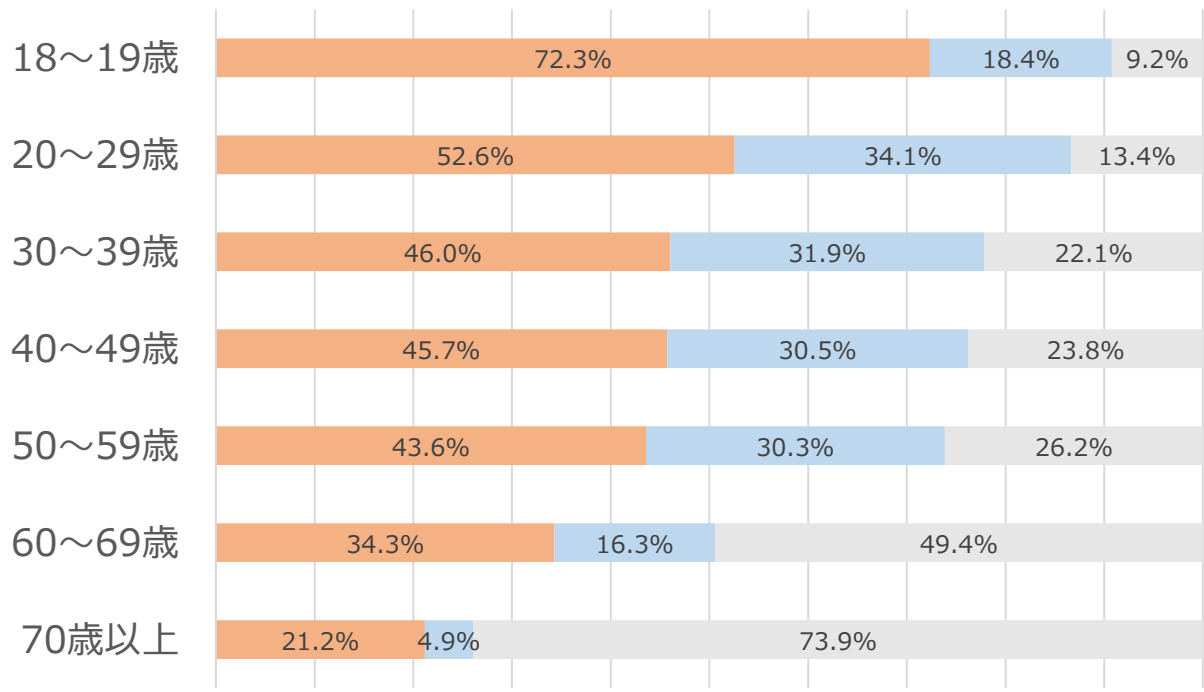
「わからない」又は無回答

分野別実感(抜粋)

-④在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等に対する意識-

職場・学校等で楽しい、嬉しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多くある

職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である



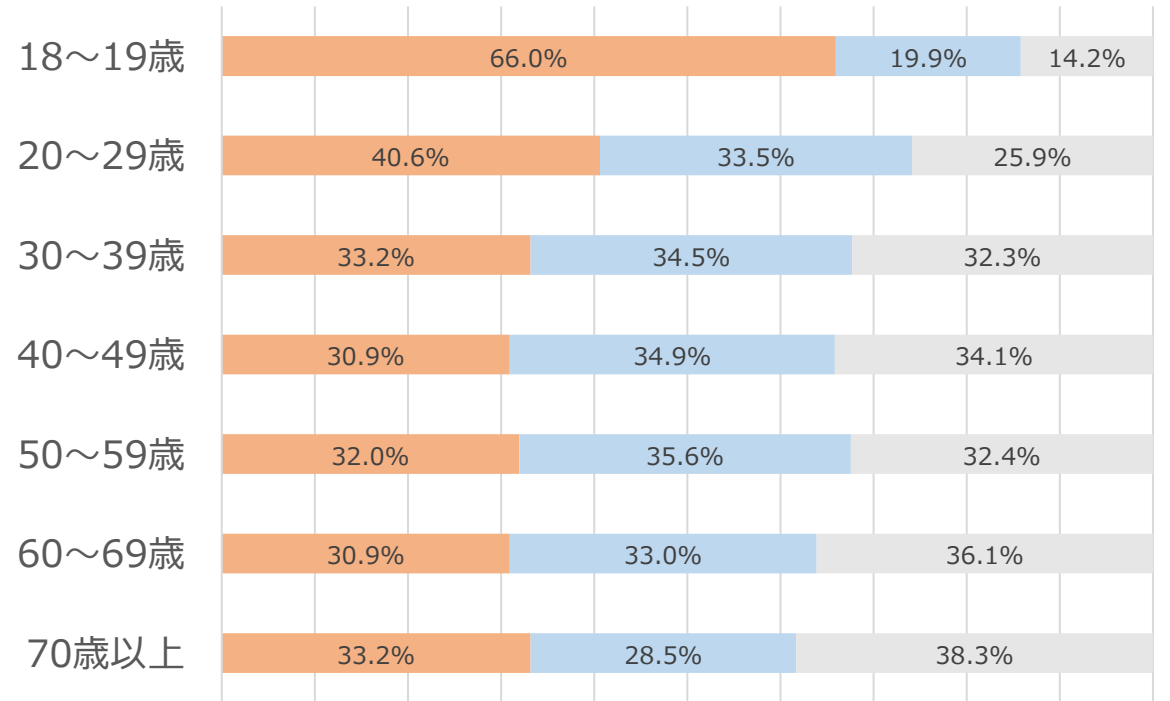
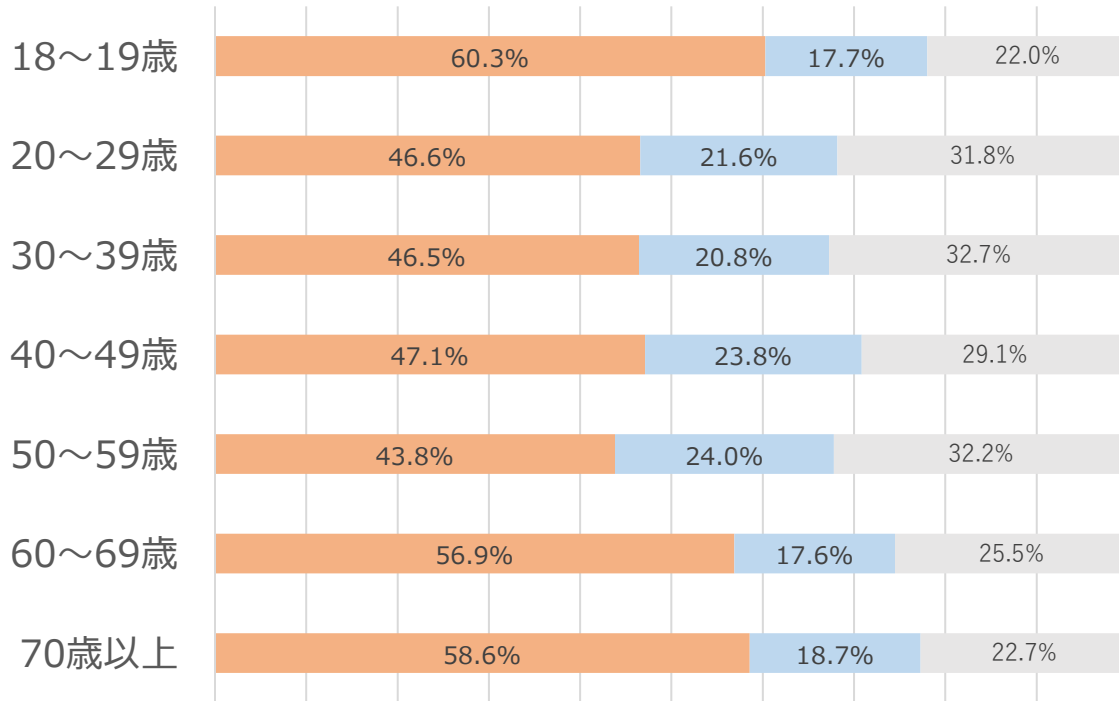
■ 「はい」又は「どちらかと言えばはい」
 ■ 「いいえ」又は「どちらかと言えばいいえ」
 ■ 「わからない」又は無回答

分野別実感(抜粋)

-⑤近所・町内（地域）、
⑥富山県に対する意識-

困った時や苦しい時に、地域の人は助けると感じている

(富山県は) 全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある



「はい」又は「どちらかと言えばはい」

「いいえ」又は「どちらかと言えばいいえ」

「わからない」又は無回答

今後の予定

- ・今後さらに回答結果を分析

(自由記入回答部分を中心に、さらに詳細な分析を行う。)

※富山県立大学の協力や専門家の助言を得ながら進める。



- ・年内に富山県としてのウェルビーイングに関する指標を策定予定

- ・分析結果や指標は今後の政策形成に活かしていく